



芦屋西部地区公園



## ◆ 計画内容

■ 震災復興区画整理事業地区である芦屋西部地区(第一地区10.3ha、第二地区10.7ha)では、事業が本格的にスタートした1998年11月より、施行者である芦屋市・都市公団のからの委託を受け、派遣コンサルタントとしてまち協のまちづくり活動に対する支援を行なった。まち再興協議会の定例会議への出席、住民ワークショップの運営、アンケート調査の実施、見学会の実施、各種資料提供等を行い、1998年度は「まちづくり提案書道路整備計画編」、1999年度は「同公園整備計画編」の作成を行った。2000年度は前年度の成果を受け、住民ワークショップを継続して開催しつつ、3つの街区公園の実実施設計業務(芦屋市より委託)を行った。このうち、かつて地区内を流れていた津知川のせせらぎの再現とビオトープ空間の創造がテーマであった清水公園では、「阪神疎水モデル事業」に選定され、これをきっかけに地元住民や動植物の専門家と協議を重ね、井戸水を利用した変化のあるせせらぎと質の高いビオトープ空間を実現した。また、住民の強い希望をうけ、全公園において区画整理事業で発生した処分庭木を移植し活用している。2001年度以降も引き続き、地区内6箇所配置されている150～600㎡の小公園及び緑地の実施設計業務を受託している。